



ホクコー

スタークル®

粒剤

スタークルは三井化学アグロ株式会社の登録商標です。



マメハモグリバエ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



タバココナジラミ



キスジノミハムシ



©MCAG



ワタアブラムシ

特長

- 重要害虫コナジラミ類・ハモグリバエ類をはじめとする多くの害虫に効果があります！
- 水稻でのカメムシ防除、野菜での育苗期処理・生育期株元散布など、幅広い処理方法で害虫防除に貢献します！
- 人畜・魚類・鳥類への毒性が低い薬剤です。

■適用害虫及び使用方法 [稲・だいず・きゅうり・うり類(漬物用)・メロン・にがうり]

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ、イネドロオイムシ、カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	右表*1)参照。
だいず	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期		株元散布	
			定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類、アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、 収穫開始14日前まで		株元散布	
		1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	
うり類(漬物用)	コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株				
メロン	アザミウマ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株				
	コナジラミ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	ハモグリバエ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	
にがうり	アブラムシ類	1g/株	育苗期		株元散布	
	アザミウマ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	

*1) ジノテフランを含む農薬の総使用回数

稲	4回以内(育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
だいず	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
きゅうり	4回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
うり類(漬物用) にがうり	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
メロン	3回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、散布は2回以内)

その他の登録内容は裏面をご覧ください。

■適用害虫及び使用方法 [つづき]

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
すいか	ワタアブラムシ	2g/株	育苗期 定植時 生育期 但し、収穫21日前まで	1回	株元散布 植穴土壌混和 株元散布 株元散布	右表*1)参照。
なす	ハモグリバエ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アザミウマ類		定植時		植穴土壌混和	
	コナジラミ類		育苗期		株元散布	
トマト ミニトマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
	アブラムシ類、コナジラミ類		生育期 但し、収穫前日まで		株元散布	
	アブラムシ類		定植時		植穴土壌混和	
	ハモグリバエ類、コナジラミ類		育苗期		株元散布	
ピーマン	コナジラミ類	1~2g/株	生育期 但し、収穫前日まで	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
	アザミウマ類		定植時		植穴土壌混和	
	アブラムシ類		生育期 但し、収穫前日まで		株元散布	
	コナジラミ類		育苗期		株元散布	
とうがらし類	アブラムシ類	1~2g/株	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
	アザミウマ類		生育期 但し、収穫開始14日前まで		植穴土壌混和	
	アブラムシ類		定植時		株元散布	
	アブラムシ類、コナジラミ類		育苗期		株元散布	
セルリー かぼちゃ	アブラムシ類	2g/株	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
ズッキーニ	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫開始14日前まで	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
とうがらし(葉) オクラ	アザミウマ類、アブラムシ類	1g/株	定植時 但し、収穫30日前まで	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
実えんどう さやえんどう	ハモグリバエ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫開始14日前まで	1回	株元散布	右表*1)参照。
さやいんげん ブロッコリー	アブラムシ類、コナガ	2g/株	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
キャベツ	アオムシ、コナガ	2~3g/株	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
	アブラムシ類	2g/株	育苗期		株元散布	
	ハイマダラノメイガ	3g/株	定植時		株元散布	
	アオムシ、コナガ	2~3g/株	定植時		株元散布	
はくさい	アブラムシ類	2g/株	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土10当たり15g	は種前	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
わけぎ	アザミウマ類、ハモグリバエ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫21日前まで	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
ねぎ	ハモグリバエ類	6~9kg/10a	生育期 但し、収穫30日前まで	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
らっきょう	アザミウマ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫前日まで	3回以内	散布	右表*1)参照。
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg/10a	定植時	3回以内	散布	右表*1)参照。
ほうれんそう	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	3回以内	散布	右表*1)参照。
だいごん	キスジノミハムシ	4~6kg/10a 9~12kg/10a	生育期 但し、収穫30日前まで	3回以内	散布	右表*1)参照。
非結球あぶらな科 菜類*2)、かぶ にんじん	タネバエ	6kg/10a	は種時	3回以内	散布	右表*1)参照。
しゅんぎく	キスジノミハムシ、アブラムシ類	6kg/10a	は種時	3回以内	散布	右表*1)参照。
葉ごぼう	ハモグリバエ類	9kg/10a	定植時	3回以内	散布	右表*1)参照。
なばな類	アブラムシ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫21日前まで	3回以内	散布	右表*1)参照。
いちご	アブラムシ類	6kg/10a	定植時	3回以内	散布	右表*1)参照。
かんきつ(苗木)	ワタアブラムシ	0.5~1g/株	定植時	3回以内	散布	右表*1)参照。
くわい	ミカンハモグリガ	20g/株	育苗期	5回以内	散布	右表*1)参照。
さとうきび	アブラムシ類	3kg/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	右表*1)参照。
ふき	カシヤコバネナガカメムシ	6~9kg/10a	生育期 但し、収穫45日前まで	2回以内	散布	右表*1)参照。
しょうが	アブラムシ類	20kg/10a	定植後~生育期*5)	1回	土壌表面散布	右表*1)参照。
食用ぎく	クロバネキノコバエ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元散布	右表*1)参照。
しそ	アブラムシ類	1g/株*4)	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
茶	マメハモグリバエ	2g/株*4)	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
きく	マテイラコナカイガラムシ	2g/株*6)	摘採7日前まで	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
ガーベラ	クワシロカイガラムシ	12kg/10a	定植時	2回以内	株元散布	右表*1)参照。
花き類・観葉植物*3)	マメハモグリバエ	2g/株*4)	定植時	1回	株元散布	右表*1)参照。
つつじ類	コナジラミ類	1g/株*4)	定植時	1回	株元散布	右表*1)参照。
	ツツジダンバイ	6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	右表*1)参照。

*2)チンゲンサイを除く *3)きく、ガーベラを除く *4)但し、10a当り30kgまで *5)草丈20cm頃まで *6)但し、10a当り25kgまで

△使用上の注意事項

- 水稲に使用する場合には、湛水状態(3cm程度)で田面に均一に散布し、4~5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないでください。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- 本剤の株元散布を行う際は、処理直後に湛水してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の蜜菜にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないでください。

- ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- かんきつに用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く散水してください。なお、本剤を散布してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布してください。
- ふきに使用する場合には、葉に付着した薬剤は払い落とすしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に、小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲

農林水産省登録：第20807号

有効成分：ジノテフラン 1.0%
人畜毒性：普通物※

粒剤

※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

*1)ジノテフランを含む農薬の総使用回数

すいか とうがらし類	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
なす ピーマン	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
トマト ミニトマト	5回以内(培土混和及び灌水は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
かぼちゃ	3回以内(定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌水は合計1回以内、散布は2回以内)
セルリー とうがらし(葉) 食用ぎく しそ	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
わけぎ	4回以内(定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌水は1回以内、散布は2回以内)
オクラ さやえんどう 実えんどう さやいんげん しょうが	3回以内(株元散布は1回以内、散布は2回以内)
キャベツ	3回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌水は合計1回以内、散布は2回以内)
はくさい ブロッコリー	3回以内(定植時の土壌混和及び灌水は合計1回以内、散布は2回以内)
レタス 非結球レタス	4回以内(は種時の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌水は合計1回以内、散布は2回以内)
ねぎ	4回以内(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌水及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌水は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
葉ごぼう	2回以内(は種時の全面土壌混和は1回以内、生育期の株元散布は1回以内)
チンゲンサイ しゅんぎく	3回以内(は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
かぶ ほうれんそう 非結球あぶらな科 菜類*2) なばな類	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
だいごん	5回以内(は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤及び液剤の散布は合計2回以内)
にんじん	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌水は1回以内、散布は2回以内)
さとうきび	5回以内(粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水溶剤は合計3回以内)
ふき	3回以内(土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所に置かないでください。○使用後の空袋は園場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記載しましょう。

この印刷物の記載内容は2019年6月末日現在のものです。